



1月の教育活動



初春の気持ちを筆に込め



各クラスの代表児童は、審査会に向けて、放課後に猛練習をしました。

3～6年生が体育館で競書会を行いました。これまでの練習の成果を発揮し、心を込めて作品を仕上げていました。1、2年生は各教室で一文字一文字丁寧に取り組んでいました。どの学年も、集中して作品を仕上げることができました。この集中力を日々の授業でも生かしてほしいです。

なわとびの練習

なわとび大会に向けて、個人では時間跳び・団体では8の字跳びの練習が始まりました。体力アップと協力を目標に、取り組んでいます！



1年生生活科「昔あそびの会」



領寿会の方々に先生になっていただき、お手玉やこま、あやとりなどの遊び方を教わりました。むかしあそびが上手になりました。自分たちの住んでる町にもたくさんの先生がいることに気付くことができました。

災害に備えて

地震の後に理科室から出火したという想定で、避難訓練を行いました。どの学年も黙って、素早く避難することができました。また、消火器の使い方を教えて頂き、先生方が実際に体験しました。その後、4・6年生が煙中体験をしました。実際に中に入ると「何も見えなくて怖かった。」など、本当に貴重な体験をすることができました。



テレビ局がやって来た!



5年生が、TBSの出前授業を行いました。テレビ局で使っている機材をそのまま体育館に運び込み、キャスターやカメラマン、クロマキー合成など、様々な体験をしました。一つのニュースを放送するのにたくさんの人が協力してニュースを作っていることを知ることができました。また、実際にテレビ局で働いている人達の、「生」の声を聞くことができ、とても貴重な体験をすることができました。